

2023年9月6日

IARU HF World Championship 連盟本部局 8N7HQ 運用レポート

8N7HQ 運用責任者  
中島 健介 (JN7FAH)

日本時間 2023 年 7 月 8 日 21:00 翌 7 月 9 日 20:59 の 24 時間にわたって開催された IARU HF World Championship 2023)において JARL 本部局の(以下、HQ 局)の一つ 8N7HQ として、3.5MHz 帯の SSB をオペレータ5名(内 2 名体験運用)で運用しました。HQ 局の開設は初めての経験でしたが、競技としての高得点の獲得はもちろんのこと、(1)マルチオペレータによるフルリモートでのコンテスト運用の実践と、(2)体験運用の制度を利用した無線従事者免許の制限を超えた設備での運用機会の提供を目的として参加しました。開催時期の影響もありコンテストでの 263 QSO は、ほぼ全て JA との交信という結果に終わりましたが、そのうちの1/3はリモートで参加してくれた 2 名の体験運用オペレータによるものだったことは特筆に値するものと思っています。また、今回の運用をとおしてフルリモートによる本格的なコンテスト運用、特にリモートPTTを使った SSB 運用の実践技術は大きな収穫でした。後者については何かの機会に改めてご報告できればと思います。

最後に、今回は体験運用の制度を利用して2名の方にそれぞれが保有する無線従事者免許(第三級アマチュア無線技士)の資格上限を超えて空中線電力 1kW で体験運用していただくことができました。これは体験運用制度がアマチュア無線の従事者免許を保有する者を対象とするように改正された恩恵に他なりません。お二人からは、別添のとおり体験運用に対する感想・意見を頂戴しています。その内容からわかるとおり、お二人とも電信操作による体験運用にも意欲をお持ちですが、残念ながら現行の体験運用制度は電信操作を含む資格を保有する者にさえ相変わらず電信操作による体験運用を禁じてしまっています。この規定は明らかに体験運用制度の改正趣旨と矛盾するものであり、日本のアマチュア無線家の代表を標榜する連盟には一刻も早い制度の再改正に取り組んでいただくよう要望して報告いたします。



リモート運用する体験運用者をシャックからサポートする  
JO7DBY 藤井氏

## 【8N7HQ での IARU 2023 体験運用に寄せて】

萩野 稷 JP7VAI

体験運用の感想・要望

1kW というハイパワーで 3.5MHz 帯の SSB を運用することができ、非常に楽しかった。私は 3 アマであるため、普段のコンテストでは”呼び負ける”ことがよくある。しかし今回の運用では短時間で、日本全国北から南まで多くの局と交信することができ、自分にとってとても良い経験となった。加えて、初めてのリモート運用だったが、簡単な操作でほとんどタイムラグもなく、不便さは全く感じなかった。3 アマ以上は CW も扱えるため、可能であるなら、CW でもハイパワー体験運用をして、DX と交信してみたいと強く思った。

小松大亮

8N7HQ 体験運用の感想

3 アマ持ちの私は、普段は大学の社団局 (JA7YAB) のメンバーとして無線運用を行っています。今回の体験運用で 50W を超え 1kW というアメリカ西海岸までクリアに声が届くような出力で運用できて大変ワクワクしました。

国内コンテストでは CW にチャレンジした事もあったので、今回のような資格上限出力を超える体験運用でも CW の運用が出来ると嬉しく思います。

大学の社団局を運営する立場の私としては、体験運用という形で現代では欠かせない無線通信の根幹に触れることは非常に有意義で、特に次世代を担う若い世代にとって貴重な経験にもなり得ると考えています。今後もこうした「体験」という活動の輪が広がることを期待しています。